

景観アドバイザーからのご意見

全20小学校区の景観資源図に関する意見交換が終了したことを踏まえ、総括のご意見をいただきました。



石川 初氏

慶應義塾大学
環境情報学部教授
調布市景観審議会委員
調布市景観アドバイザー

- 意見交換の対象となっている学校区に縁の深い参加者と、その学校区をあまり知らない参加者が同じ場で意見交換する機会が多かった。
- 縁の深い参加者からは非常に具体的でミクロなエピソード（虫の目）が語られた。その学校区をあまり知らない人は、客観的かつマクロな視点（鳥の目）で語られた。
- この「虫の目」と「鳥の目」が入れ替わり立ち替わり現れ、時に一方が他方を補完したり、客観的な視点が地元の詳細な話に切り込んだりすることで、地図だけでは見えてこない景観の構造や価値が浮き彫りになった。
- 今回いただいた多様な意見は「調布市景観計画」の改定に限らず、これからの調布市のまちづくりに活用されるべき重要なものである。

市民検討会の様子



第4期市民検討会 次回開催予定について

これまでの取組を振り返り、将来の景観まちづくりにつなげよう！！

○第4期最終回となる次回は、これまでを振り返りながら、皆さんのご意見等がどのように景観計画に反映されたかのご報告や、第5期テーマの導入部を石川教授に講義いただきます。

○開催は2月27日（金）を予定しています。

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせしていきます。

発行：調布市都市整備部 まちづくり推進課 開発景観係

Tel：042-481-7442 Fax：042-481-6800 Email：keikaku@city.chofu.lg.jp

ちょうふ景観だより

第69号 | 令和8年
2月26日発行

あなたの住む小学校区の景観資源は何ですか？



小学校区別の「景観資源図」について話し合いました

これまでの市民検討会で、市内の各小学校区にある魅力ある景観資源や地域特性等を話し合い、様々な視点からいただいたご意見等を取りまとめてきました。

これらを各小学校区別の「景観資源図」に落とし込み、市民の皆さん、景観アドバイザーである慶應義塾大学石川教授と研究室の皆さんと一緒に意見交換を行いました。

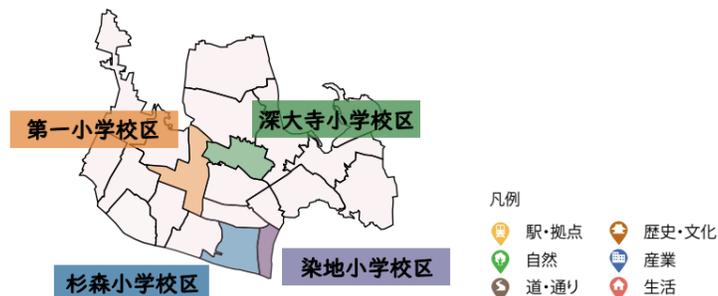
本号では、いただいたご意見の一部を紹介します。

協働による身近な景観まちづくりとは…

調布市景観計画では、より身近な地域として市内にある20の小学校の校区単位に、特性や景観資源、方針（案）などを示し、市民との協働による身近な景観まちづくりを目指しています。

※詳細については調布市景観計画第11章参照

第8・9回の市民検討会では、各小学校区の「景観資源図」に対し皆さんからいただいたご意見を踏まえ、「身近な景観まちづくり方針」を取りまとめました。本号では、掲載した景観資源や皆さんからいただいたご意見の一部をご紹介します。



駅前風景 | 第一小学校区

景観まちづくり方針（案）

- 調布の「顔」としてふさわしい駅前景観の形成を図り、都市の風格と文化的魅力を高めます
- 商業・業務、住宅、歴史等の様々な要素が調和した、にぎわいの中にも親しみの感じられる景観を形成します
- 市街地に残された貴重な水辺やみどりを保全し、歩いて楽しめる魅力的な景観軸を創出します
- 布多天神社や旧甲州街道沿いの街並み等の歴史的景観を保全・活用し、連続する魅力ある景観を形成します

電気通信大学周辺



電気通信大学をはじめとした、学園都市である。大学構内の緑も良い。

調布駅・市役所周辺



調布駅前の時代を通じた変化に、歴史が表れている。



景観まちづくり方針（案）に対する参加者からの意見

新しいものと残されてきたもの（樹木等）を活かした景観づくりが求められる。

深の水



国分寺崖線から湧き出る地下水は、人の手が加えられていない自然のままの地下水である。

白梅樹



調布グリーンホール前の老梅樹は2月が見頃。日露戦争後に植樹された紅白梅は、いつからか白梅だけに。

水辺の景観 | 杉森小学校区

景観まちづくり方針（案）

- 戸建住宅や集合住宅地において、住みやすい住宅地の景観形成を推進します
- 生産緑地や多摩川沿いの自然環境を活かし、ゆとりと潤いが感じられる景観づくりを推進します
- 日活調布撮影所をはじめとした映画文化の歴史を継承し、地域の魅力を高める景観づくりを進めます

布田崖線の斜面



住宅地の中にある高低差から、布田崖線の地形を感じることができる。

多摩川河原の水鳥



学区境に位置する二ヶ領上河原堰。多くの野生生物や水鳥が生息しており、貴重な自然観察の場所である。



彫刻のある散歩路



歩道は手入れが行き届き、遊歩道には9点の彫刻が飾られている。

多摩川と鴨



布田から眺める多摩川には、お馴染みの鴨が浮かんでおり、ほっとする風景である。

緑・農の景観 | 深大寺小学校区

景観まちづくり方針（案）

- 国分寺崖線や野川の豊かな自然景観と緑地を保全し、自然との調和を図ります
- 深大寺と周辺の歴史・文化的資源を活かし、魅力的でにぎわいのある景観を形成します
- 武蔵境通りなどの主要道路の歩行者環境を整備し、観光資源へのアクセス向上を図ります

湧水と水路

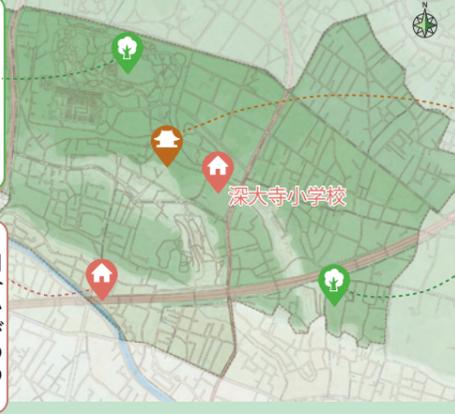


水路、湧水、池など、様々な水の風景が見られる。流れの変化や、生物の集まりが豊かな景観を生み出す。

高架下の公園 (南深大寺児童遊園)



高架下の空間を活用し、カラフルな複合遊具が設置されている。殺風景になりがちな高架下が、雨の日も遊べる子どもの遊び場に！



深大寺と参道



深大寺の「そばまつり」は毎年恒例の季節を感じるイベントである。

かき山(深大寺自然広場)



小学校の遠足で行く、調布市の子どもにとって身近な探検場所である。

景観まちづくり方針（案）に対する参加者からの意見

深大寺通り周辺で、森林から宅地への開発行為が見られるが、深大寺周辺の豊かな森林を維持してほしい。

住宅の景観 | 染地小学校区

景観まちづくり方針（案）

- 多摩川沿いの豊かな緑地帯と一体となった自然景観を保全し、地域のシンボルを活かしたまちづくりを進めます
- 多摩川住宅団地のゆとりある住環境の質を高めます
- 地域の交流拠点としての景観形成を推進し、地域コミュニティの活性化を支えます

多摩川住宅の並木

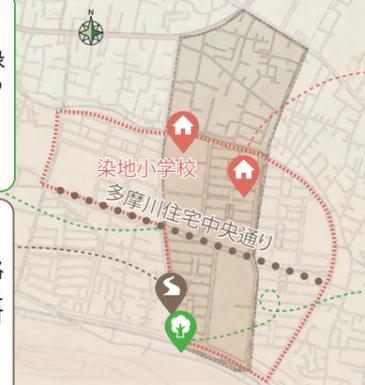


街路樹や団地内の緑が生木陰がとても重要な景観である。

道路や建物の直線的な整列



直線的に伸びる道路と整列した建物。土手の自然と曲線が対照的である。



多摩川住宅の給水塔



多摩川住宅は1960年代に建設され、大規模団地として注目を集めた。とっくり型の給水塔は地域のランドマークになっている。

ワイルドライフと広い空



多摩川河川敷は、深い藪や畑などワイルドな植生と広い空が魅力。都市と自然の曖昧な境界が自由な気持ちにしてくれる。